



すり鉢状の地形をそのまま利用して、丘の斜面から舞台を眺める構造になっている

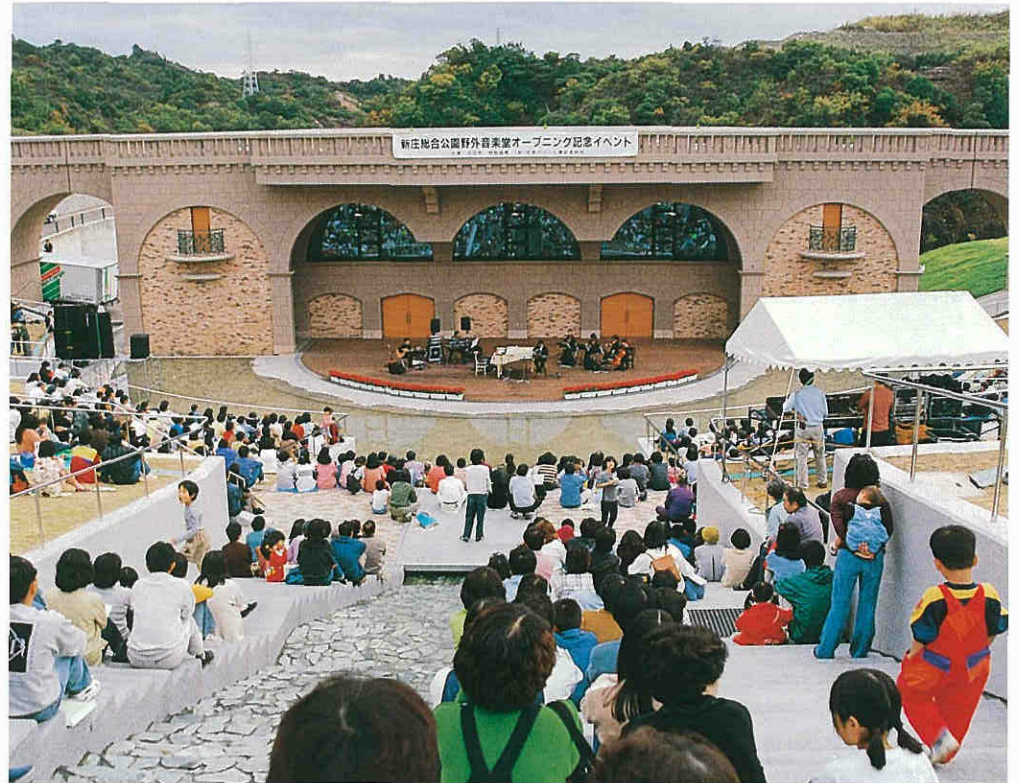


ヨーロッパの野外劇場をイメージした設計



斜面を流れ落ちた水は舞台を取り囲む

26 ミューズパーク・たなべ



田辺市では、自然環境に親しみながら文化活動を楽しむことのできる都市公園として、新庄総合公園の整備事業を進めてきたが、この「ミューズパーク・たなべ」は、公園内に設けられた野外音楽堂である。

施工にあたっては、ヨーロッパの野外劇場をイメージし、既存の平坦部分と調整池との間にあるすり鉢状の地形を活用した。上手から舞台に向けて水路が設けられており、流れてきた水は、舞台の周りを取り囲んでいる。また、観客席は芝生でつくられ、周辺をシバザクラやヘデラなどで植栽しており、水と緑に囲まれた環境の中で、舞台上で行われる催しを観賞できる施設となっている。

舞台は、コンサートや演劇、集会など、多目的な利用に配慮したものになっており、その上部はバルコニー構造で、反対側からは調整池を眺めることもできるなど、散策路としての機能も備えている。

開設後は、多彩な文化活動やイベントに活用されているほか、開演のない時には、散策や休憩施設として利用されている。なお、施設の名称は一般から募集したものの中から選定されたものである。

DATA・BOARD 26

- ①和歌山県田辺市たきない町3558-1
- ②面積：547㎡
- ③JR紀勢本線紀伊田辺駅からバスで国立病院前下車・徒歩5分、湯浅御坊道路御坊1Cから車で約70分
- ④天神崎、ひき岩群、動鳴気溪、奇絶峡

